



# マザーアース茅ヶ崎って何？

今は防災について

取り組み中！



## なぜ行動し始めたの？

昼間、自宅やその近隣で、家にいることの多いのは女性。

妊婦さん、乳幼児と一緒にママ、主婦、一人暮らしのお年寄りまで、様々な年代を通して、もし茅ヶ崎で災害が起きたら、..。

「どう命を守れるのだろうか？」「助け合えるのだろうか？」と考えた時、女性による市民目線の防災を軸にしたコミュニティの必要性を感じたからです。

## 「今まで」と「これから」どうしていくの？

2018年8月8日 マザーアース立ち上げ

9月 ・防災イベント開催(参加人数は予想を超える160人以上)

11月 ・女性目線での広域避難場所の検証スタート

12月 ・市内全33箇所の検証終了

・男女参画支援センター登録団体として承認される

2019年2月24日 ・防災イベント『ベビーバギーサミット』開催予定

今後開催してほしい事、知りたい内容等、募集中です。寄せられた声を元に活動していきます。「本当に避難できるの？」「避難所の入り口は？」「環境は？」等々。これまでの検証結果を地域の皆さんに知っていただきたいです。具体的には災害ごとのシミュレーションも地域ごとに行っていきたいです。

茅ヶ崎市内の防災について市民目線でもっと身近に考え、愛をもって行動していきます。「知る」「行動する」が活動のモットーです。

## 立ち上げメンバー達と、一緒に活動しませんか？

現在、30代から70代までのいろいろな想いを持つ人達が集まっています。同じように「何か行動したい」「防災に不安がある」etc..という方、入退会という形式はとりません。すべて自由参加です。お気軽にご参加ください！

※参加・行動に費用は一切かかりません。

マザーアース茅ヶ崎(男女参画支援センター登録団体)

山田秀砂 ☎ 090-3236-6285 中村 ☎ 080-9105-2052

ヒサ

✉ mother\_earth@aroma.ocn.ne.jp



LINE@





## ほんとは災害に対して不安…

南側最大の広域避難場所である茅ヶ崎ゴルフ場開発がきっかけで、約5年間防災に関わってきて、茅ヶ崎市民が災害時に置かれるであろう状態を知りました。

災害が起こる度に生まれる「多様な悲しみや後悔の念」今も持ち続けなくてはならない人々の苦しみを思いやった時…。人が居る倒壊家屋に火が迫るなか、水の出ない消火ホースを持たされた消防士の無念、泥の中から我が子を掘り出し川の水で身体を洗った「大川小学校の悲劇」。

このような辛い思いを『二度と起こさせないよう・減らすよう』に努力は出来るのではないかと考えました。

例えば、広域避難場所を「普通の女性目線で検証」という事は、学術的なことだけでなく、女性達の日常の生活サイクルで考えた検証でなければならないからです。

## 大きな不安は大きな力に変わる

昼間、茅ヶ崎市にいる多くの女性でも、立場は様々で、幼子を持つママ、働いているママ、お年寄りがいるなど色々です。

さあ、「ここが不安なの、こんな時どうするの？」環境が同じ人達どうして不安をはき出しましょう！

「不安」⇒どうすることが良いのか？ ⇒こうだと助かる ⇒方法を探そう！私達が『場をつくります』『専門家が必要ならお願いしてきます』

私達マザーアース茅ヶ崎は、同じ思いを持ったひと達が集まり、一つの力になりました。

マザーアース茅ヶ崎の仲間達は愛を中心に何が出来るかを考えています。私達にとって防災は人と人との繋がりで。子どもに携わっている人・福祉に携わっている人・看護に携わっていた人など、その道のベテランから若者まで幅の広い仲間達と一緒に行動しませんか？

どうぞ一人でも多くの市民の皆様に関わっていただき、多様な情報の収集をする事で、不安な心と心をつなげ大きな力に変えていっていただける事を心より願っています。

悲しみと後悔の種はみんなで摘みとろう…。

マザーアース茅ヶ崎 発起人

山田 秀砂  
ヒ サ

